

ウォシュレット®

一体形便器Z1・Z2・Z3・Z4・Z5

CES9053型・CES9063型・CES9083型・CES9093型

工事店様へ

- 取扱説明書最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- オートフレグランスセット(Z4・Z5のみ)は、必ずお客様にお渡しください。
- サウンドリモコン(Z5のみ)は乾電池、ACアダプターのどちらでも使用できます。事前にお客様がどちらを選ばれるか確認してください。
- サウンドリモコンで使用しない乾電池またはACアダプターは、工事完了後、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大洗浄6L(小洗浄5L)仕様を大洗浄8L(小洗浄6L)仕様としてお使いいただけます。切替手順は「6 ロータンクの水量調節をする」の11～13ページを参照してください。
- 連立対応について(URL)<http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の覧「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。



washLêT®

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	3
同梱部品	4
各部のなまえ	4
施工手順	5

1 止水栓を取り付ける	5
2 便器を取り付ける	6
3 ウォシュレット本体を取り付ける	6
4 ケースふたを取り付ける	8
5 給水ホースを取り付ける	9
6 ロータンクの水量調節をする	11
7 便器部サイドパネルを取り付ける	14
8 アース線を接続する	14
9 電源プラグを接続する	14
10 リモコンを取り付ける	15

試運転	17
給水フィルターの掃除	20
凍結のおそれがあるときの処置	21

はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください！

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

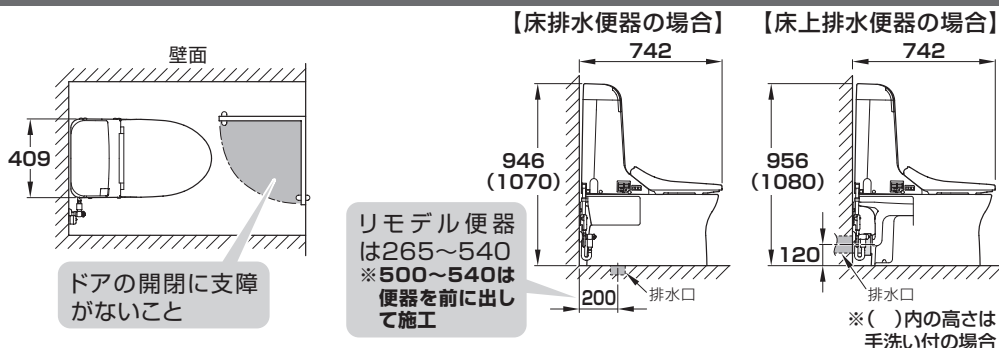
警告

	浴室など湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。
	交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因になります。
	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	車輛・船舶など、移動体への設置はしない 火災や感電、故障の原因になります。 便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。
	アース(D種接地)工事を確実に行う アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

注意

	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水漏れの原因になります。
	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない 水が噴き出します。
	施工は施工説明書に従って確実に行う 正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。
	給水フィルター付水抜栓は確実に締める 確実に締めないと水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意



①製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

②ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

③下表の電力に適した配線をしているか確認してください。

電源	定格消費電力	
交流100V(50/60Hz)	Z1	302W(水抜方式:304W、ヒータ付便器:340W)
	Z2・Z3	414W(水抜方式:416W、ヒータ付便器:452W)
	Z4・Z5	450W(水抜方式:452W、ヒータ付便器:488W)

④電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。

⑤給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。

⑥給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。

⑦同梱以外の給水ホース、止水栓を使わないでください。

⑧サウンドリモコン同梱のACアダプターコードの長さは約2.8mです。

コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。

⑨インパクトドライバーのような強いトルクで施工しないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

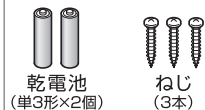
総合セット品番

C E S ☐ ☐ ☐ 3 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

機種		便器タイプ		手洗いの有無		タンク金具+給水金具		機種の区分	
記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ
905	Z1	なし	防露	なし	手洗いなし	なし	寒冷地用 + 止水栓(ヒータ付水抜方式)	なし	Z3・Z4・Z5
906	Z2	H	防露ヒータ	L	手洗い付			R	Z1・Z2
908	Z3	M	防露リモデル			E	一般地 + 止水栓		
909	Z4・Z5	P	防露P排水			G	寒冷地用 + 止水栓(水抜方式)		
		HM	ヒータ付防露リモデル			F	寒冷地用 + 止水栓(流動方式)		
								機種の見分け	
記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ
なし								なし	—
								Y	Z5 (サウンドリモコン)

同梱部品

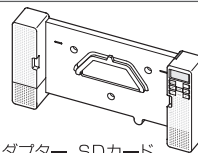
リモコン部品



(Z1・Z2用)

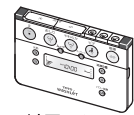


サウンドリモコン (Z5のみ)

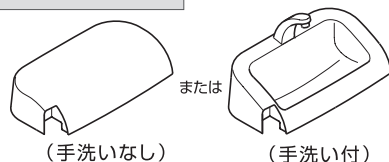


ACアダプター、SDカード、乾電池 (単3:4個)、ねじ3本、アンカープラグ (3本)

(Z3・Z4・Z5用)



ケースふた



給水ホース

長さ:約400mm



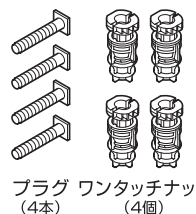
止水栓



ロータンクパッキン



取付ボルト組品



フレグランスセット (Z4・Z5のみ)

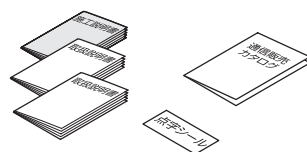
※フレグランスセットの箱は必ずお客様にお渡しください。



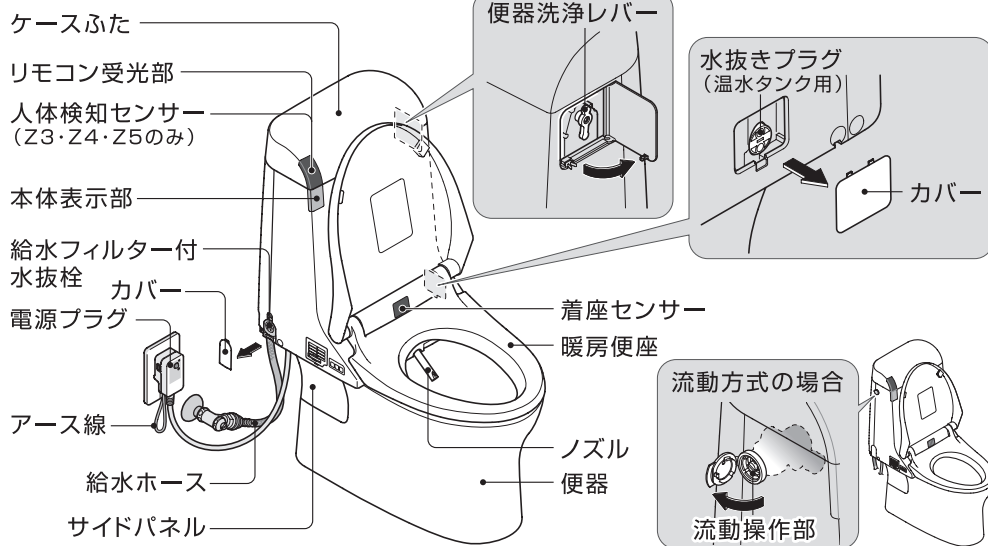
型紙



取扱説明書、サウンドリモコン取扱説明書 (Z5のみ)、施工説明書 (本書)、通信販売カタログ、点字シール (Z3・Z4・Z5のみ)



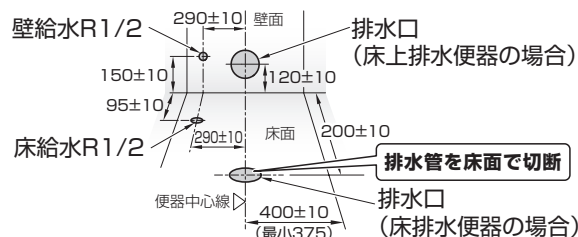
各部のなまえ



施工手順 この手順に従って施工を行ってください。

- 1 止水栓を取り付ける
- 2 便器を取り付ける
- 3 ウォシュレット本体を便器に固定する
- 4 ケースふたを取り付ける
- 5 給水ホースを接続する
- 6 ロータンクの水量調節をする
- 7 便器部サイドパネルを取り付ける
- 8 アース線を接続する
- 9 電源プラグを接続する
- 10 リモコンを取り付ける
- 試運転 (作動・水漏れチェック) をする

1 止水栓を取り付ける



- ① 給水金具と排水管の位置を決める
※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは…

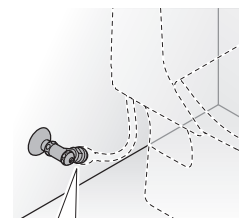
便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。

- ② 止水栓を取り付ける

取り付け前に…

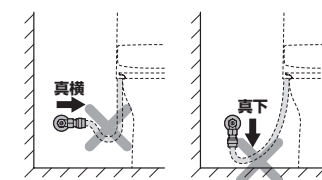
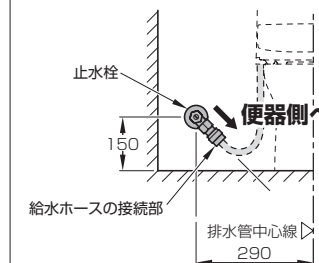
止水栓を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓を必ず取り付けてください。

壁給水



給水ホース接続部を下向き (便器側) に折り曲がらないようにして取り付ける

誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や漏水の原因になります。

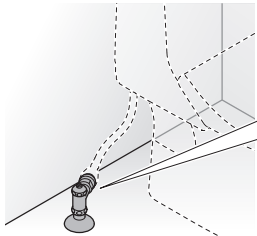


※下向き45° (便器側) に取り付けことを推奨します。

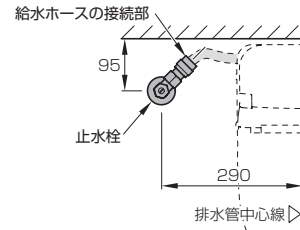
はしめこ

取り付けかた

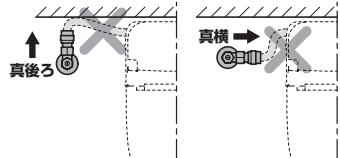
床給水



給水ホース接続部を後ろ向き(便器側)に折れ曲がらないようにして取り付ける



誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や漏水の原因になります。

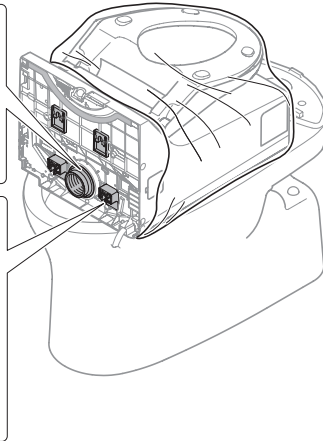
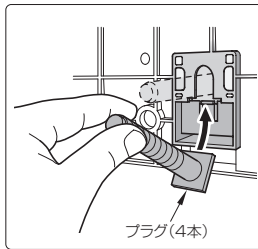
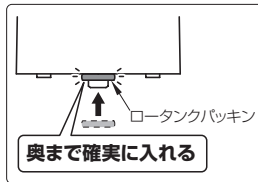


※後ろ向き45°(便器側)に取り付けることを推奨します。

2 便器を取り付ける

便器の取り付けかたは、便器側に同梱の「便器の施工説明書」をご覧ください。

3 ウォシュレット本体を取り付ける



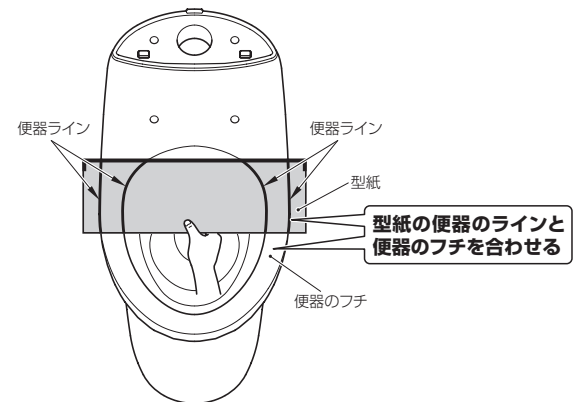
① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける

△注意

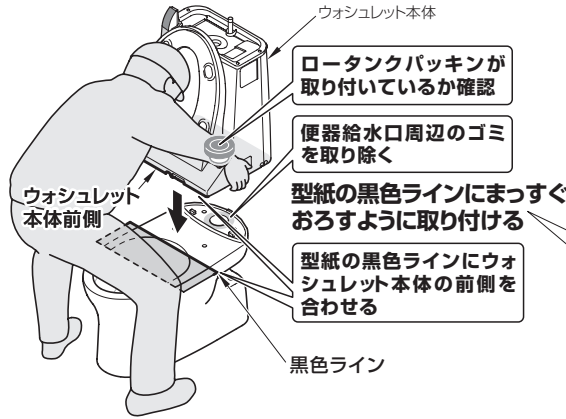
ロータンクパッキンは図のように正しく取り付けてください。正しく取り付けないと水漏れの原因になります。

② ウォシュレット本体底面にプラグ(4本)を取り付ける

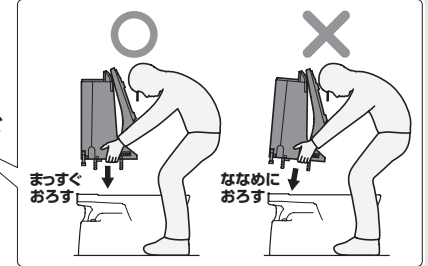
③ 型紙を置く



3 ウォシュレット本体を取り付ける(つづき)



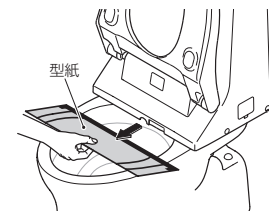
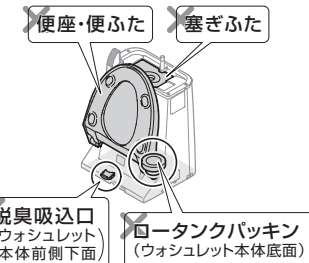
④ ウォシュレット本体を便器に取り付ける



△注意

パッキン及び給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。また、便器にウォシュレット本体を取り付けるときは、必ずまっすぐおろしてください。ゴミを取り除けなかったり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれて漏水する原因になります。

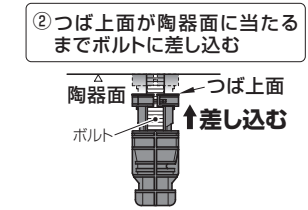
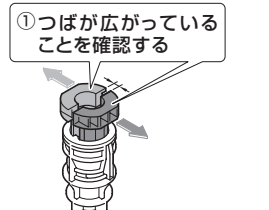
ウォシュレット本体を持ち上げるときは、右図の場所は持たないでください。右図の場所を持つと、便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



△注意

型紙をはすすときは、汚水防止パッキンがめくれないように注意してください。

⑤ 型紙をはすす



⑥ ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

△注意

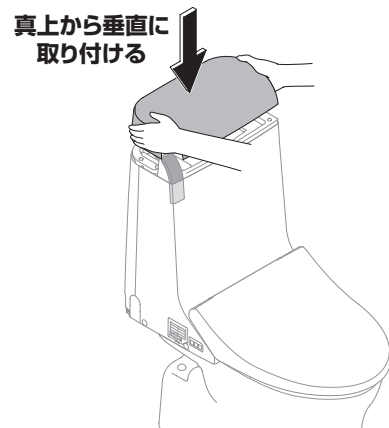
ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

確認！
※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

取りはすすときは…
ウォシュレット本体を取りはすすときは、手で取りはすしてください。工具を使用しないでください。

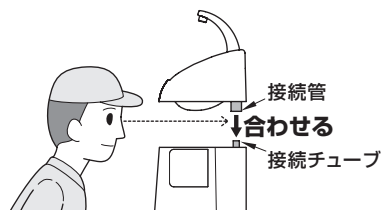
4 ケースふたを取り付ける

手洗いなしの場合



ケースふたを本体に合わせるようにして真上から取り付ける

手洗い付の場合



- ① 手洗い管の接続チューブに接続管を差し込んで、ケースふたを取り付ける

⚠ 注意

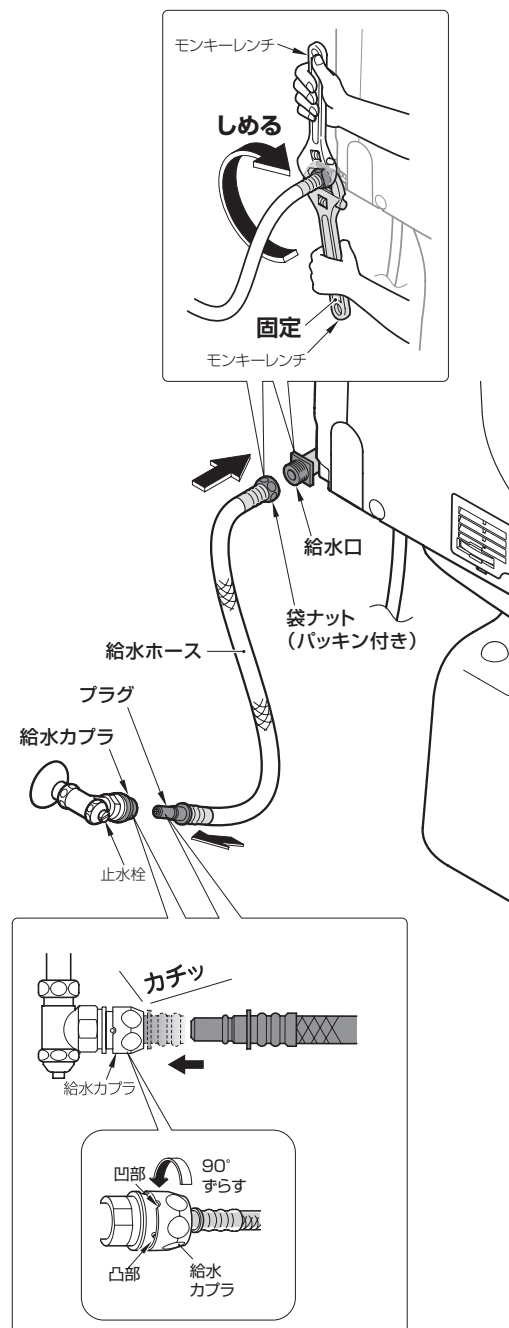
ケースふたを正しく取り付けてください。手洗い付の場合は、ケースふたが正しくセットされていないと、水を流したとき水が噴き出る原因となります。

- ② 正しく取り付いているか確認する

ケースふたが浮いたり、ぐらいついたりしていませんか？

この場合は、もう一度取り付け直してください。

5 給水ホースを取り付ける



- ① ウォシュレット本体の給水口を横向きにして給水ホースの袋ナットを締め付ける

⚠ 注意

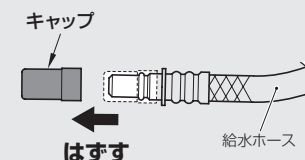
必ず給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。

POINT!

ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。給水ホースを取り付けるときは横向きにして、取り付け後は下向きにしてください。



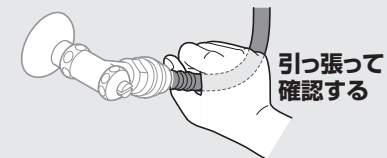
- ② 給水ホースの先端のキャップをはずす



- ③ 給水ホースのプラグ側を止水栓の給水カブラに差し込み、給水カブラの凹部と凸部を90°ずらした位置にする

⚠ 注意

給水カブラに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。音がしないときは差し込み不足です。水漏れの原因になります。差し込んだ後、ホースを引っ張って正しく差し込まれているか確認してください。



給水ホースの長さが足りないとき、長すぎるときは・・・

リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に同梱している給水ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

(同梱の給水ホースの長さは約400mmです。)

お求めは**TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター** TEL: ☎0120-8282-55、

FAX: ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

また、タンク隅付形便器(C21、C14)からリモデルする場合は、取替用止水栓(TS91F1UAX)をご購入ください。製品に同梱している給水ホースを使って施工できます。

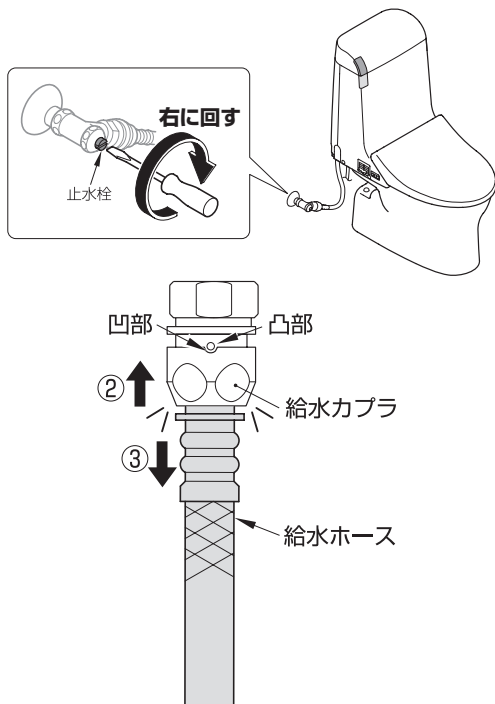
給水ホース長さ違い一覧表

ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格(税込)	ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格(税込)
200	D24008-1ZS	¥2,800(¥2,940)	800	D24008-4ZS	¥3,400(¥3,570)
300	D24008-2ZS	¥2,900(¥3,045)	1000	D24008-5ZS	¥3,600(¥3,780)
600	D24008-3ZS	¥3,200(¥3,360)	1200	D24008-6ZS	¥3,800(¥3,990)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

給水ホースの取りはずしかた

施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。



① 止水栓を閉める
止水栓を閉めた後、給水ホース内の圧力を抜くため、ロータンクの水を流してください。

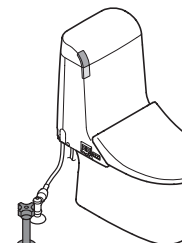
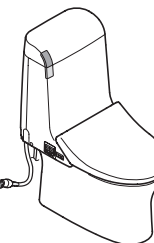
② 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる

③ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く

6 ロータンクの水量調節をする

【止水栓の場合】

【水抜栓の場合】



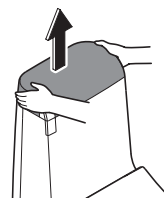
① 止水栓を開ける
(水抜栓の場合は閉める)

確認!

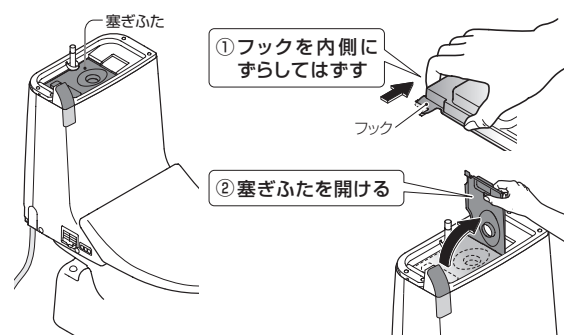
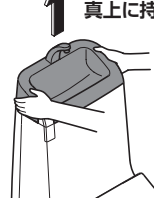
●配管及びウォシュレット本体から水漏れしていないか確認してください。

② ケースふたをはずす

【手洗いなしの場合】
真上に持ち上げる

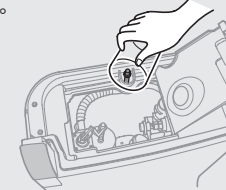


【手洗い付の場合】
真上に持ち上げる

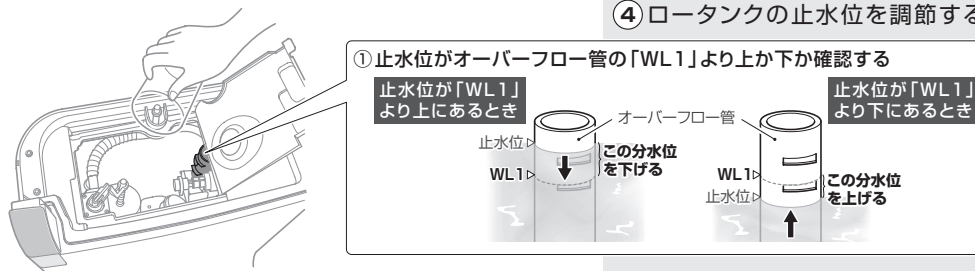


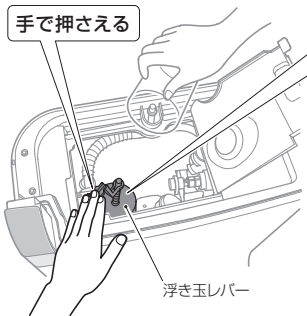
③ 塞ぎふたを開ける

⚠注意【手洗い付の場合】
手洗いがこぼれないように接続チューブにコップなどをかぶせてください。水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



④ ロータンクの止水位を調節する





- ② 止水位位置が「WL1」に合っていない場合、止水位を調整する
● 浮き玉レバーの根元を手で押さえて浮き玉を回して止水位を調整してください。
- 上から見た図
- 右回し 水位が下がります。
左回し 水位が上がります。
(1回転で約3mm上下します。)
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

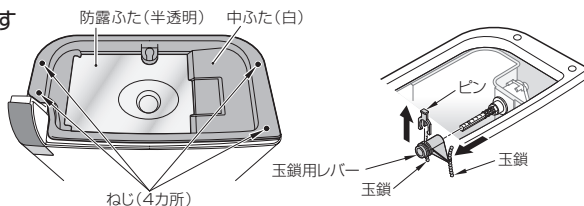
⚠ 注意

止水位は正しく合わせてください。
正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり、便器が詰まったりすることがあります。

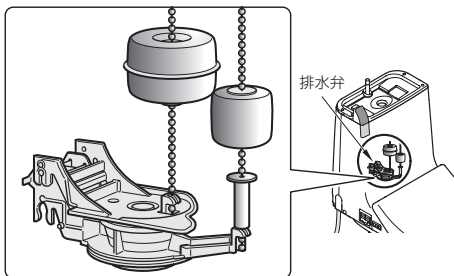
④ の手順で水の流れが弱い場合(水量を切り替えます6/5L→8/6L)

① 既設の玉鎖用レバーを取りはずす

- 1 止水栓を開けてロータンク内の水を抜く
- 2 後方を上げながら、ケースふたを取りはずす
- 3 中ふた(白)と防露ふた(半透明)を取りはずす
- 4 既設の玉鎖用レバーを取りはずす



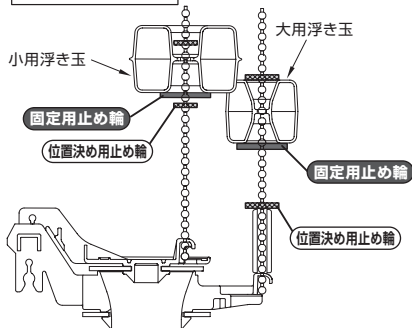
② 排水弁を取りはずす 排水弁を取りはずす



③ 下側の固定用止め輪を玉鎖からはずして、浮き玉を下にずらし、はずした固定用止め輪を浮き玉の上につける

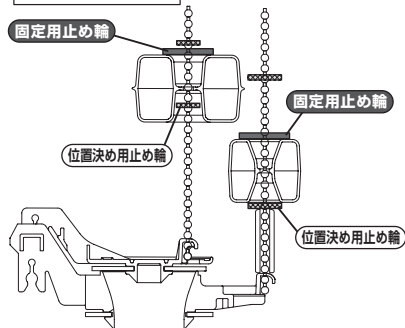
大6L・小5L⇒大8L・小6Lへの切替要領

大6L/小5L設定



浮き玉の下側の 固定用止め輪 をはずす(2箇所)

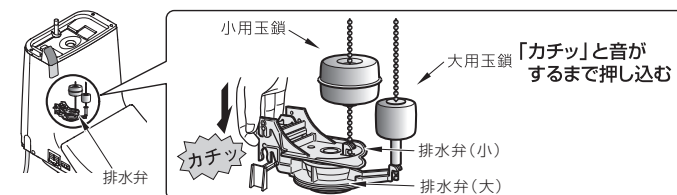
大8L/小6L設定



浮き玉が 位置決め用止め輪 まで落下します。
浮き玉の上側に 固定用止め輪 をセットする(2箇所)

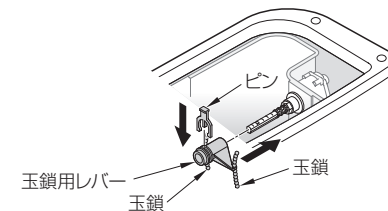
④ 排水弁を取り付ける

前記の②と逆の手順で排水弁を取り付ける



⑤ レバーを取り付ける

玉鎖用レバーを取り付け、ピンをセットする



① 便器洗浄レバーを回して水を流す

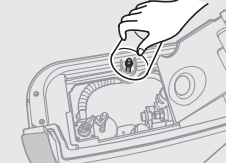


② 水が止まったら、止水位「WL1」に合っているか確認する

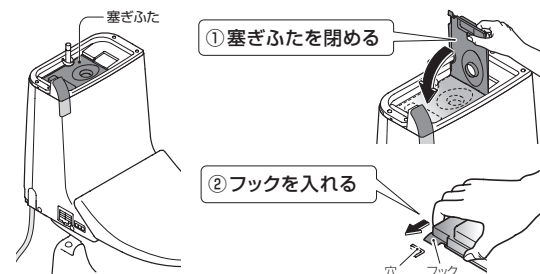
⑤ 正しく調節できたか確認する

⚠ 注意

手洗い付の場合は、必ず接続チューブにコップをかぶせてください。
水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



⑥ 塞ぎふたを閉める



【手洗いなしの場合】



【手洗い付の場合】



⑦ ケースふたを取り付ける

水圧が高く、給水音が激しい場合

水圧が高いと、ロータンクへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。

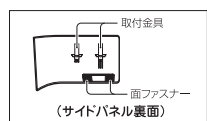
7 便器部サイドパネルを取り付ける(床・排水・便器は除く)

便器に同梱しているサイドパネルを次の手順で取り付けてください。

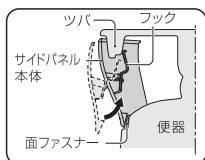
※サイドパネルの形状は2種類あります。同梱しているサイドパネルの形状を確認して取り付けてください。

※サイドパネルは右側面用、左側面用の2種類あります。事前に確認してください。

取付金具がある場合

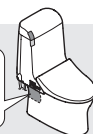


- ① サイドパネルのフックを便器のツバに斜め下から挟み込む
- ② サイドパネルと便器を面ファスナーで固定する



POINT!

サイドパネルは点線面に合わせるように取り付けること

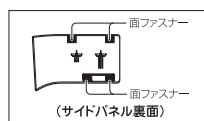


サイドパネルを取りはずすときは...

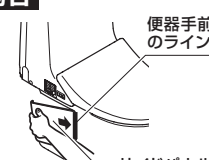
サイドパネルの後方下側(A部)を水平に引っ張り、取りはずす



面ファスナーのみの場合

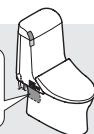


- ① サイドパネルを便器手前のラインに合わせてセットする
- ② セットした後、面ファスナーの上を手で軽く押し当てる



POINT!

サイドパネルは点線面に合わせるように取り付けること

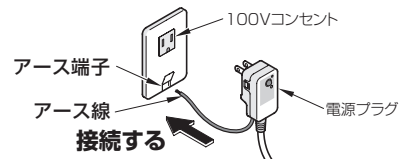


サイドパネルを取りはずすときは...

サイドパネルの後方を持ち、取りはずす



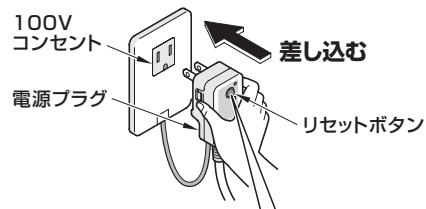
8 アース線を接続する



アース線をコンセントのアース端子に接続する

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

9 電源プラグを接続する



「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
※テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

- ① 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む

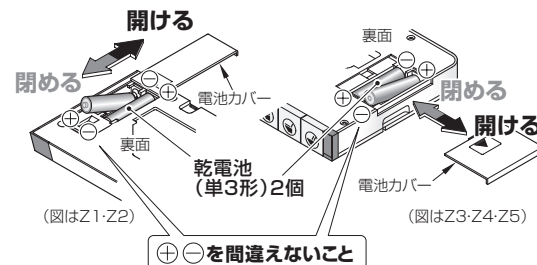
ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

ヒーター付便器の場合 (凍結のおそれがある場合のみ)

便器ヒーター用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒーター用電源プラグに差し込んでください。

- ② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

10 リモコンを取り付ける



※Z5はサウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

- ① リモコンの電池カバーを開け、乾電池を入れる

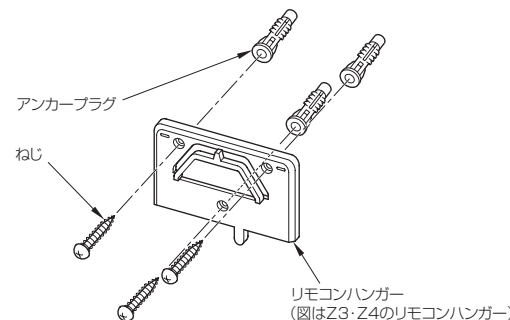
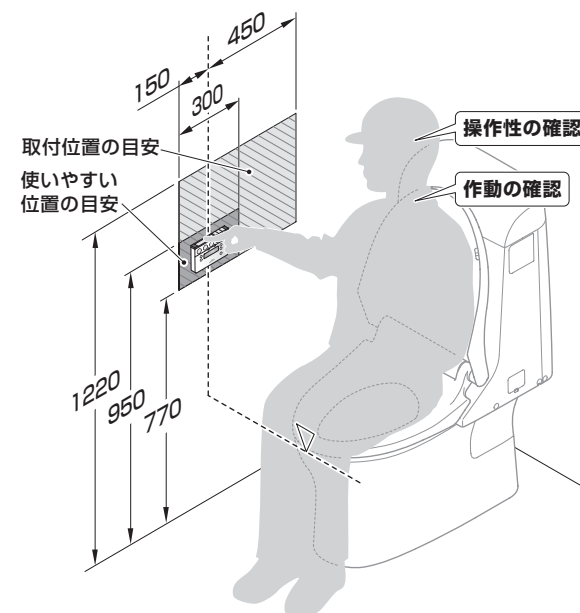
- ② 次の確認を行ってリモコン取付位置を決める

操作性の確認

便座に座った状態で操作を行い、取付位置を決めてください。

作動の確認

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

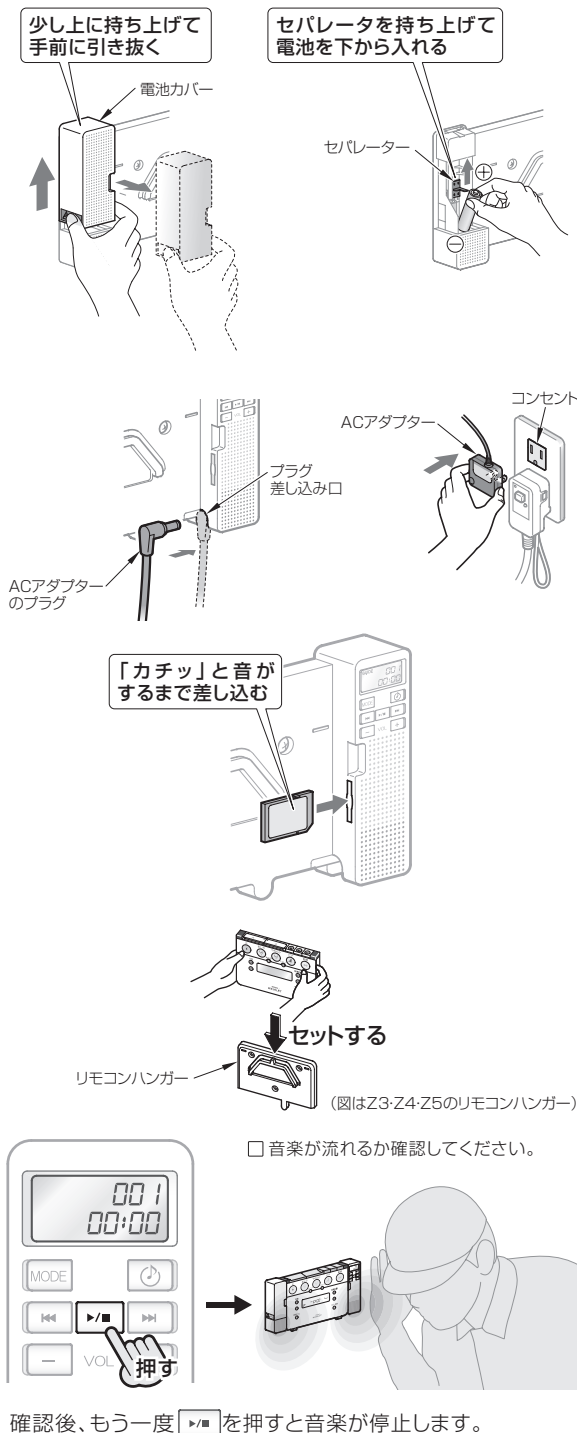


- ③ リモコンハンガー(またはサウンドリモコン)をねじで壁に取り付ける

※ねじは必ず同梱のねじを使用してください。

※ハンガーは必ず3カ所固定してください。

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



④ (サウンドリモコンのみ) 乾電池またはACアダプターを取り付ける

乾電池の場合

- 1 電池カバーをつまんで少し持ち上げて手前に引く
 - 2 セパレータを持ち上げて乾電池を入れる
- ※ 乾電池は **+** **-** を確認して正しく入れてください。
- 3 電池カバーを取り付ける

ACアダプターの場合

- 1 ACアダプターのプラグをサウンドリモコンのプラグ差し込み口に差し込む
 - 2 ACアダプターをコンセントに差し込む
- 5 (サウンドリモコンのみ) SDカードをセットする

⑥ リモコンを取り付ける

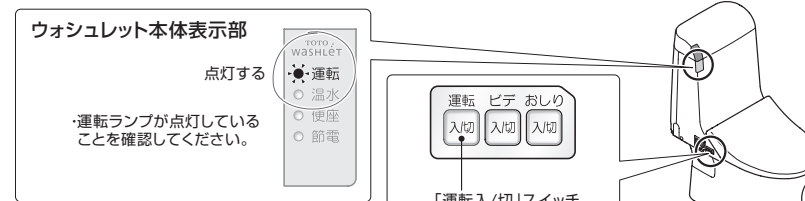
⑦ (サウンドリモコンのみ) 音楽が流れるか確認する

試運転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

試運転前に必ず確認してください!

- 試運転の前及び試運転完了時は必ず本体操作部「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、ウォシュレット本体表示部の「運転ランプ」が点灯します。)
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは動作しません。



- ※ お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。
- ※ Z1・Z2の場合、リモコンの水勢ランプは「おしり」「やわらか」「ビデ」スイッチを押すと、設定している位置で約5秒間点灯します。その後設定している位置で点滅(約5秒に1回)しつづけます。

1. 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
 - 止水栓を開いて(または水抜栓を閉めて) 配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないことを確認する
- ※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



2. 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。(便座を閉めないで着座センサーはたたくません。)



2 脱臭機能を確認する

- 本体左側面の脱臭口より風が出ていますか?



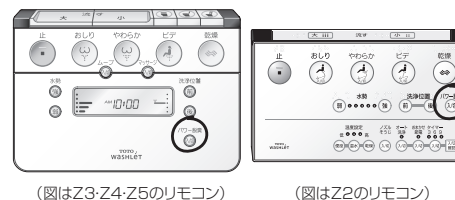
4 洗浄機能を確認する

- 「おしり」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか?
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか。
- 「止」スイッチを押すと止まりますか。



3 パワー脱臭機能を確認する

- 「パワー脱臭」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか?
- もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押すと通常の音に戻りますか?



2. 機能の確認(つづき)

5 乾燥機能を確認する(Z2・Z3・Z4・Z5のみ)

- 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの右側から出ますか?
- 「止」スイッチを押すと止まりますか?



6 室内暖房機能を確認する(Z4・Z5のみ)

- 「室温」を押すと本体右側から温風が出ますか?
- もう一度「室温」を押すと約10秒後に温風が止まりますか?
- 室温が20~33℃のときは20秒間だけ風が出ます。それ以上の室温のときは温風が出ません。
- 設定温度より室温が高くなると、温風が自動で止まります。



7 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまっていますか?
- 便座があたたまるまで約15分かかります。



8 着座センサーを30秒以上検知させて白紙をはす



9 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか?
- 約1分後に自動で止まりますか?

10 オート洗浄機能を確認する

- 約5秒後に自動で便器洗浄しますか?



【Z3・Z4・Z5の場合】(男子小便時の確認)

※オート洗浄後、次にオート洗浄を確認するときは60秒以上間隔をあけてください。

- 便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか?

6秒以上立つ

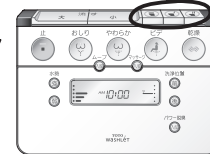
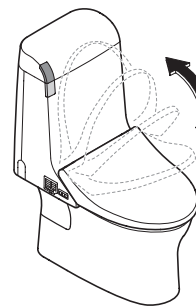


約3秒後
便器洗浄

2. 機能の確認(つづき)

11 リモコン便座・便ふたの開閉機能を確認する(Z3・Z4・Z5のみ)

- 「開」を押すと便座・便ふたが開閉しますか?



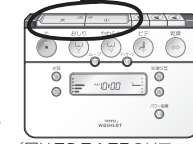
12 リモコン便器洗浄を確認する

※オート洗浄後、リモコン便器洗浄を確認するときは10秒以上間隔を開けてください。

- 「大」を押すと便器の水が流れますか?



便器洗浄



2~3度便器洗浄して、ウォシュレット本体底面から漏水などの異常がないことを確認してください。

13 オート開閉機能を確認する(Z3・Z4・Z5のみ)

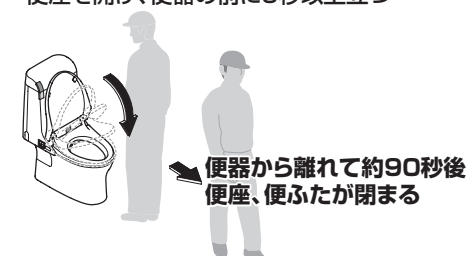
- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか?

便器から離れて10秒経過後
便器の前に立つ



- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座、便ふたが自動で閉まりますか?

便座を開け、便器の前に6秒以上立つ



14 流動による凍結予防の確認をする(流動方式のみ)

- ① 本体右側面のキャップを指で開ける



- ② 流動操作部をドライバーで約90度左に回す
- ロータンクから便器内に水が出ますか?

約90度左に回す



- ③ 本体操作部の「おしり」を10秒以上押す

- 本体表示部の「運転」ランプが点滅しますか?
- ノズルが収納したままで約5分後にノズルの根元から水が出ますか?

- ④ 確認が終わったら、流動操作部をドライバーで右に約90度回して、キャップを閉める(凍結予防をやめます。)

- ⑤ 本体操作部の「おしり」を10秒以上押す(ウォシュレットの凍結予防をやめます。)

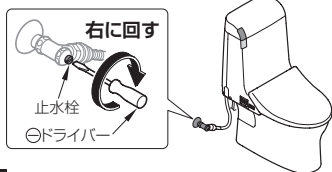
- 本体表示部の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか?

※必ず「運転」ランプを点灯の状態にしてください。

給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。
試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

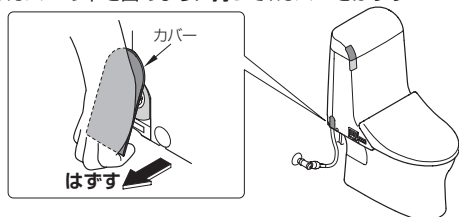
1 止水栓を開けて給水を止める



△注意

止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない
禁止 水が噴き出します。

3 カバーの下を図のように持って、カバーをはずす



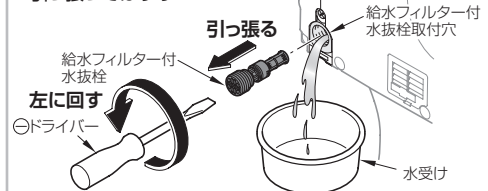
5 フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除く



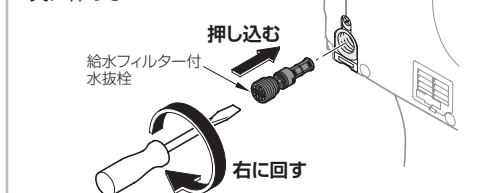
2 本体右側のふたを押して開け、便器洗浄レバーを奥側に回してロータンクの水を抜く (給水管内の圧抜きです。)



4 給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす



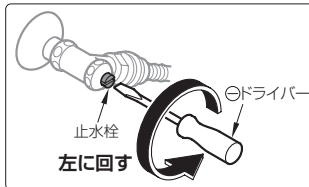
6 給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



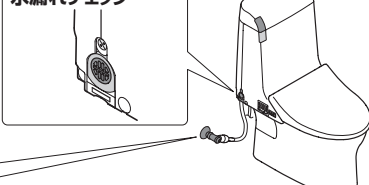
△注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める
禁止 確実に締めないと水漏れの原因になります。

7 止水栓を開ける



水漏れチェック



給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか確認してください。

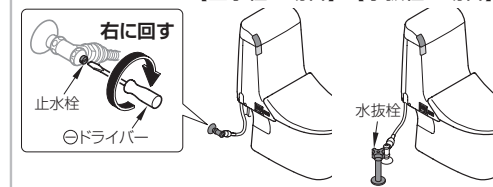
8 カバー上部の突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで、カバーを押し込む



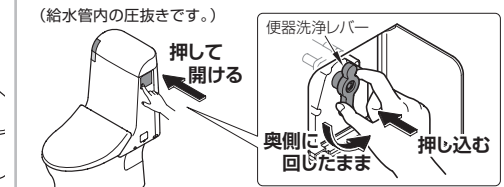
凍結のおそれがあるときの処置

次の手順で水抜きを行い、
電源プラグを抜いてください。

1 止水栓を開けて(または水抜栓を開けて)給水を止める 【止水栓の場合】 【水抜栓の場合】



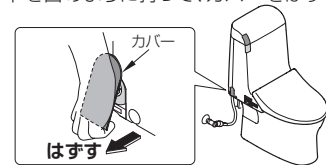
2 本体右側のふたを押して開け、便器洗浄レバーを奥側に回してロータンクの水を抜く (給水管内の圧抜きです。)



3 配管の水を抜く

① リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す
(製品内部の残水を抜きます。)

② カバーの下を図のように持って、カバーをはずす



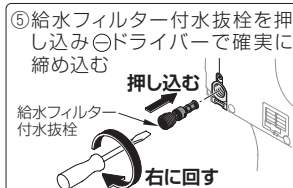
③ 給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす



△注意

止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない
禁止 水が噴き出します。

④ もう一度、リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す

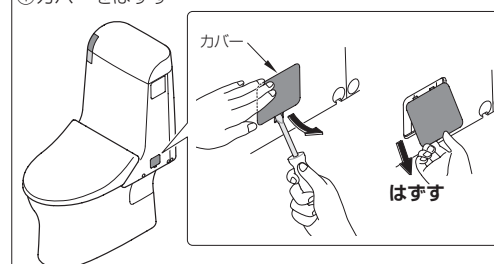


⑤ カバー上部の突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで、カバーを押し込む



4 ウォシュレット内の水を抜く

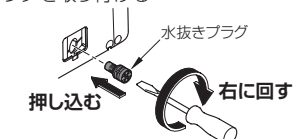
① カバーをはずす



② 水抜きプラグをはずして本体内の水を抜く



③ 水抜きプラグを取り付ける



④ カバーを取り付ける
突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



5 電源プラグを抜く

6 便器内の溜水を処置する

[illegible]